

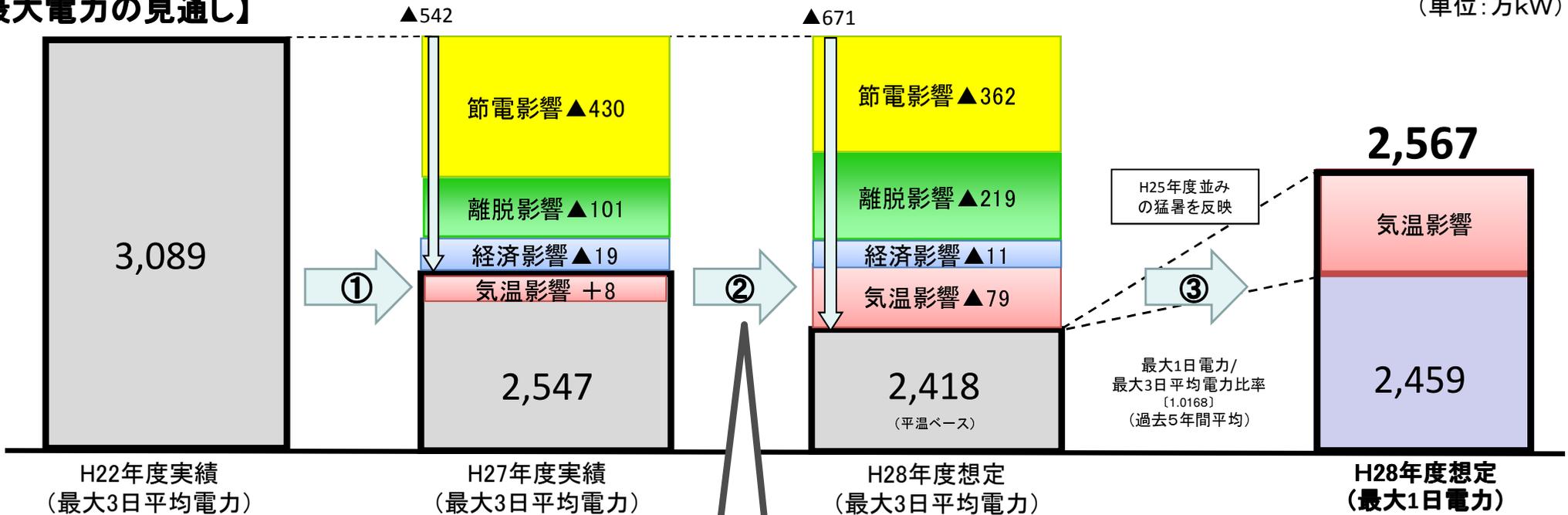
# 今夏の需給見通しについて

平成28年5月31日  
関西電力株式会社

# 今夏の最大電力想定の方

## 【最大電力の見通し】

(単位: 万kW)



### 【②-1:節電影響の見通し】

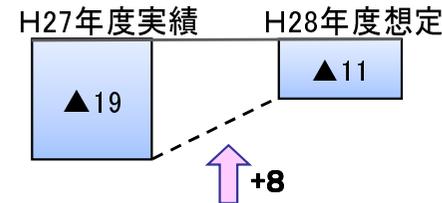
<節電アンケート結果 (H28.2実施)>

(単位: 万kW)

	H27年度 節電実績 (a)	節電アンケート結果		H28年度 節電影響 (a) × (b)
		節電継続率 (b)	サンプル数	
大口	▲188	82%	484件	▲154
小口	▲133	85%	341件	▲113
家庭	▲109	87%	1071件	▲95
計	▲430	84%	1896件	▲362

### 【②-2:経済影響の見通し】

(単位: 万kW)



(参考)

最高気温 (H25)	36.6°C
基準気温	35.2°C

※各気温は累積5日気温

- ①: H27年度における節電影響、離脱影響、経済影響、気温影響をH22年度実績と比較して算出しています。
- ②-1: 今夏の節電影響は、至近のアンケート結果に基づいた大口、小口、家庭別の節電継続率により、▲362万kWと想定しています。
- ②-2: 今夏の経済影響は、リーマンショックから大きく景気が回復したH22年度と比較すると依然としてマイナスであるものの、今後の景気拡大を織込み、H27年度と比べ+8万kWとなる▲11万kWと想定しています。
- ③: H25年度並みの猛暑を反映した今夏の最大1日電力は、最大1日電力/最大3日平均電力比率(過去5年間平均)を用いて、2,567万kWになるものと想定しています。

# 今夏の需給見通し

(単位: 万kW)

		7月	8月
需要		2,567	2,567
供給力		2,778	2,778
予備力		211	211
予備率		8.2%	8.2%
供給力内訳	原子力	0	0
	水力	232	213
	火力	1,634	1,642
	揚水	351	351
	新工ネ	0.3	0.3
	他社・融通	561	571

(四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。)

# 今夏の中西日本各社の電力需給状況

※「需給検証小委員会」資料より作成

(単位:万kW)

	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	中西6社	全国9社
需要	2,567	2,567	545	1,114	543	1,564	8,900	15,550
供給力	2,739	2,778	605	1,259	574	1,782	9,737	16,967
供給－需要	172	211	60	145	31	218	837	1,417
予備率	6.7%	8.2%	11.1%	13.0%	5.8%	13.9%	9.4%	9.1%

※ いずれの電力会社においても、他の電力会社からの融通なし

- 当社管内のこの夏の需要は、お客さまにご協力を賜っております節電の効果等を踏まえ、最大電力2,567万kW(平成25年度並み猛暑)と想定しています。
- 一方、供給力は、東日本大震災に伴う特例措置の適用による火力の法定点検の繰り延べや他電力からの応援融通等を行うことなく、8月で2,778万kWとなり、電力の安定供給に必要な予備率(8.2%)を確保できる見通しです。
- 当社としては、国および奈良県節電協議会ならびに自治体と一体となって省エネルギー活動を推進させていただきます。今後も引き続き、電力の安定供給に向けて、供給設備を可能な限り活用し、設備の異常兆候の早期発見や早期復旧に努めるとともに、お客さまに電気を安全かつ安定的にお届けするという使命をしっかりと果たしてまいります。